

水稻用初・中期一発処理除草剤

田植同時
散布が
可能!!



無人航空機散布
が可能

1キロ粒剤

忍法 除草の術

- 其の一 SU抵抗性雑草やノビエ、
多年生カヤツリグサ科雑草まで幅広く効く。
- 其の二 移植直後からノビエ2.5葉期まで幅広く使える。
- 其の三 省力的な田植同時散布が可能。
- 其の四 直播水稻にも使用可能。



■主な適用雑草

※適用作物(移植水稻・直播水稻)によって適用のある草種が異なる場合があるので、詳細は適用内容をご確認ください。



ホタルイ



コナギ



アゼナ



ミズガヤツリ



オモダカ



クログワイ



ミズアオイ



ウリカワ



ヘラオモダカ



アオミドロ



ノビエ



コウキヤガラ



水稲用初・中期一発処理除草剤 1キロ粒剤

有効成分
イマズスルフロン………0.90%
ピラクロニル………2.0%
ベンゾビシクロン………2.0%

- 其の一 ★ SU抵抗性雑草やノビエ、多年生カヤツリグサ科雑草まで幅広く効く。
其の二 ★ 移植直後からノビエ2.5葉期まで幅広く使える。
其の三 ★ 省力的な田植同時散布が可能。
其の四 ★ 直播水稲にも使用可能。

田植同時
散布が可能!!

適用と使用方法

2020年10月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移 植 時	1kg /10a	1回	田植同時散布機で 施用
	エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
シズイ	草丈3cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セ リ	再生前から 再生始期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

■イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内 ■ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内 ■ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内

田植同時散布での上手な使い方 散布量/10a当り1kg

※散布量の調整については各散布機の取扱説明書をご覧ください。ご購入になった農機具店にお問い合わせください。
※実際の散布にあたっては散布量の微調整が必要です。

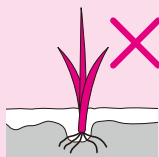
1 均平化作業・植付けはていねいに。

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。



2 極端に土のもどりが悪い水田では使用をさける。

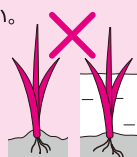
移植後の根が露出していると、薬剤が直接根に触れ薬害の危険があります。



3 田植同時処理はひたひたの浅水で!

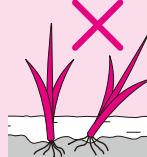
水がない状態では薬剤の拡散が悪く、効果不良・薬害の原因になることがあります。

苗が水没するような深水もさけてください。苗の活着が悪く生育抑制の原因となります。



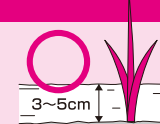
4 移植深度は適正に!

極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



5 移植後は速やかに入水を!

移植後は速やかに水深3～5cmになるよう入水してください。



入水後は止水し、3～4日間は通常の湛水状態を保ち、7日間は落水、かけ流しはしないでください。



使用上の注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するように注意してください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用をさけてください。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付け作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ②専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - ③事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m離れた位置からはほ場内に散布してください。
 - ⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)
 - 軟弱な苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田

- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用をさしひかえてください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 害虫に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにしてください。
- 移植前に生育したミスガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 眼に対して軽度の刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は田舎等に放置せず適切に処理してください。

02R10J20S96:ZS

2020年10月作成(全企企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

